



## SAPPORO FLOWER CARPET

2014年から開催されている「サッポロフラワーカーペット」は、花びらや自然素材を用いて1つの大きな絵を作り上げるイベントです。市民ボランティアや近隣地域の方々とともに、バラやカーネーションなどを広場に敷き詰め色とりどりの絵を制作しています。

開催期間：例年6月中旬に開催しています／入場者数：86,000人／利用形態：全面

主催：サッポロフラワーカーペット実行委員会



愛称は「アカプラ」

AKADLA

この愛称は、応募作542件の中から、選定委員会を経て決定しました。音の響きの良さや親しみやすさを感じられるとともに、北海道庁赤れんが庁舎に近接していることを予感させ、位置・場所がイメージしやすいことが評価されました。また、ロゴマークのデザインは、札幌市出身のアートディレクターである葛西薫さんに制作していただきました。

パンフレットデザイン

アートディレクション：鎌田順也【KD】 デザイン：齊藤京美【KD】 コピーライティング：清松俊也【キャッチャーゴロ】 イメージ写真：小野田陽一

お問い合わせ

### 事業全般について

札幌市まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
TEL 011-211-2692

### 広場の利用について

札幌駅前通まちづくり株式会社(指定管理者)  
〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌駅前藤井ビル 8階  
TEL 011-211-6406  
HP <http://www.kita3jo-plaza.jp/>

憩う、まち歩き。



札幌市北3条広場「アカプラ」概要

AKADLA



札幌の雰囲気と都心の新しい空気が漂う、憩いの場。  
「アカプラ」は、ずっと居たくなる場所。

「アカプラ」は、札幌のメインストリート“札幌駅前通”と  
歴史的観光資源“北海道庁赤れんが庁舎”の間にある広場です。  
札幌の美しい街並みやイチョウ並木の雰囲気を大切にしながら、  
都心の新しい空気が漂う憩いの場。いつまでもずっと居たくなる場所。  
ここでは、ぬくもりのある景観と新しい風が入り混じった  
居心地のいい時間を過ごせます。







風。光。緑。  
札幌の四季の変化を味わえる、  
休憩が可能なデッキを設置。



歩む。語らう。景観を楽しむ。  
赤れんが庁舎側から望むアングルも、  
記念写真スポットとして人気。



季節ごとに輝きを着替える。  
時間ごとに表情を変える。  
ここには、人を楽しませる時間が流れている。





## “新しい素敵”をつくる 3つのコンセプトがあります。

今の札幌のまちの風景や雰囲気大切にしながら、  
訪れた人の心に“新しい素敵”を加えていく。  
札幌という都市空間の心地よさを提供していくために、  
「アカプラ」は、3つのコンセプトを考えています。

気軽に立ち寄れる休息場所として。居心地のよい落ち着いたあるオープンスペースとして。大人が楽しめる創造的で文化的な空間をめざして、まちとともに育っていきます。

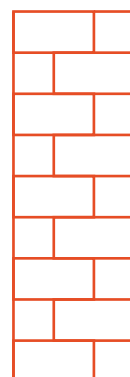
大人の文化を  
享受できる空間

札幌の美しさを  
感じられる空間

四季を通じて  
憩い楽しめる空間

北海道庁赤れんが庁舎や美しいイチョウ並木など、札幌を象徴する景観を生かした空間づくりで、まちの魅力となり活力となり、札幌になくてはならない存在をめざします。

さまざまな四季の表情が楽しめる札幌ならではのスポットとして、都市の魅力を一年中楽しんでもらえる取り組みを行い、思わず立ち止まりたくなる素敵な空間をめざします。



この地特有の時のあたたかみと、都市の新しさが溶け合って、  
アカプラの新しい魅力が生まれています。

ここは札幌舗装道路の発祥の地。北3条通が造られたのは、明治初頭。当時は「札幌通」と名付けられ、東に延びる通り沿いには札幌農学校や開拓使の官営工場など、さまざまな機関が集まりました。大正13年(1924年)、道庁赤れんが庁舎正門前から札幌駅前通までの区間が市内初の舗装に。当時の車道に整備された木製れんがによる木塊舗装は現在もその一部が広場のれんが舗装の下に保全されています。この木塊舗装は大正14年(1925年)に植樹されたイチョウ並木とともに土木学会選奨土木遺産に認定されています。



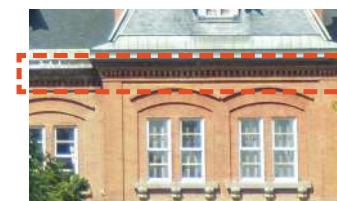
大正13年(1924年) 出典:『北海道路誌』  
北海道庁正門前の木れんが舗装道路



広場の整備にあわせて広場内に木塊舗装の展示スペースを設け、貴重な歴史遺産を紹介しています。



赤れんがのベンチは、北海道庁赤れんが庁舎のコーナーストーンをモチーフに、細部までこだわってデザインしています。



北海道庁赤れんが庁舎 コーナーストーン



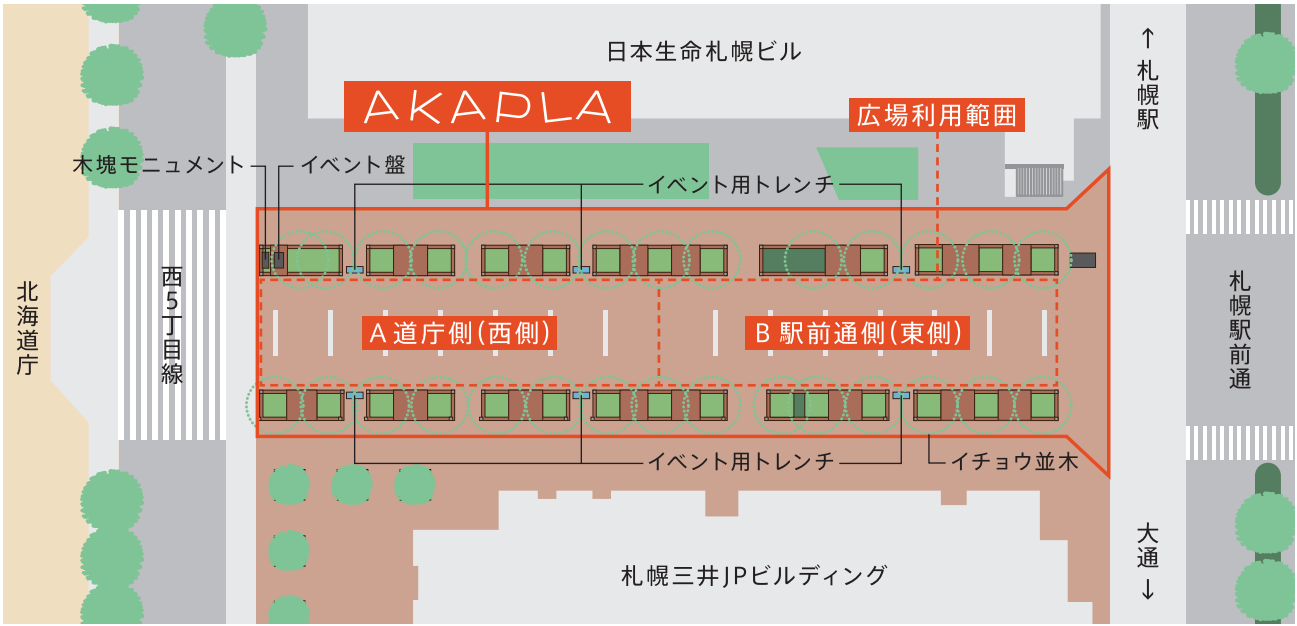
# 札幌駅と大通を結ぶ、まち歩きの回遊拠点に。

札幌駅前通地下歩行空間2番出口／4番出口すぐ



## 広場概要

- 〔名称〕札幌市北3条広場  
〔場所〕札幌市中央区北2条西4丁目  
及び 北3条西4丁目  
(西5丁目線から札幌駅前通までの区間)  
〔延長〕約100m  
〔標準幅員〕約27m  
〔面積〕約2,800㎡  
〔アクセス〕JR「札幌」駅 徒歩5分  
地下鉄南北線「さっぽろ」駅 徒歩2分  
地下鉄東西線・南北線「大通」駅 徒歩5分



札幌市北3条広場は、都心の2大商業圏であり観光の中心エリアでもある  
札幌駅周辺地区と大通地区のほぼ中間に位置していることから、2つのエリアを結ぶ  
まち歩きの回遊拠点として、都心部に新たなにぎわいと憩いの時間を創出していきます。

## 設備

- 電気関係／イベント盤(1箇所)、地中埋設空配管(南北2箇所)、  
イベント用電源ハンドホール〔トレンチ内〕(南北6箇所)  
設備利用料 1日13,200円(税込)+使用ワット数に応じて実費
- 給水関係／イベント用給水ボックス〔トレンチ内〕(南北6箇所)
- 排水関係／イベント用排水マンホール〔トレンチ内〕(南北6箇所)
- ロードヒーティング／広場東西の主動線部分と南北を結ぶ  
貫通通路部分にはロードヒーティングを設備



イベント盤 トレンチ

※1～3は使用にあたり、下記の申請先に事前の申請が必要です。  
1:札幌駅前通まちづくり株式会社  
2,3:札幌市水道局 給水装置課審査係 電話:011-211-7081 ※指定管理者と事前協議が必要です。

## 広場利用料金

| 区分         | 利用料 |                    |
|------------|-----|--------------------|
|            | 単位  | 金額                 |
| 全面(1,290㎡) | 平日  | 1日につき 438,600円(税込) |
|            | 休日等 | 554,700円(税込)       |
| 半面(645㎡)   | 平日  | 1日につき 219,300円(税込) |
|            | 休日等 | 277,400円(税込)       |

※料金は「札幌市北3条広場条例」で決められています。  
※1日に満たない利用であっても、1日の利用をしたものとみなします。  
※搬入・撤去、撤去にのみ利用する日であっても、利用日数に換算いたします。

## ロケーション撮影料金

- 広場半面、全面を利用した撮影(映画、番組)は**広場利用料金**を参照。  
セットを組み立てるなどして占用し、一般の通行者の利用を遮る場合
- 短時間の撮影  
設営から撤去を含めて、3時間以内の利用で、セットを組立せず、カメラ・三脚等の設置のみ。  
また一般の利用者の通行を遮らない場合
- 📺動画撮影の場合 16,500円(税込) [例:CM等の撮影]
- 📷写真撮影の場合 3,300円(税込) [例:ウェディングのロケーションフォト、雑誌等掲載の人物スナップ撮影など]

## 利用時間

- ※歩行者の通行は、原則24時間可能です。
- ・広場の利用時間は、原則午前9時～午後9時までの12時間となります。
  - ・搬入・搬出、設営、撤去についても、原則上記の時間内において行ってください。

※詳細についてはホームページに記載している利用の手引きを必ずお読みください。

## 活用ガイド

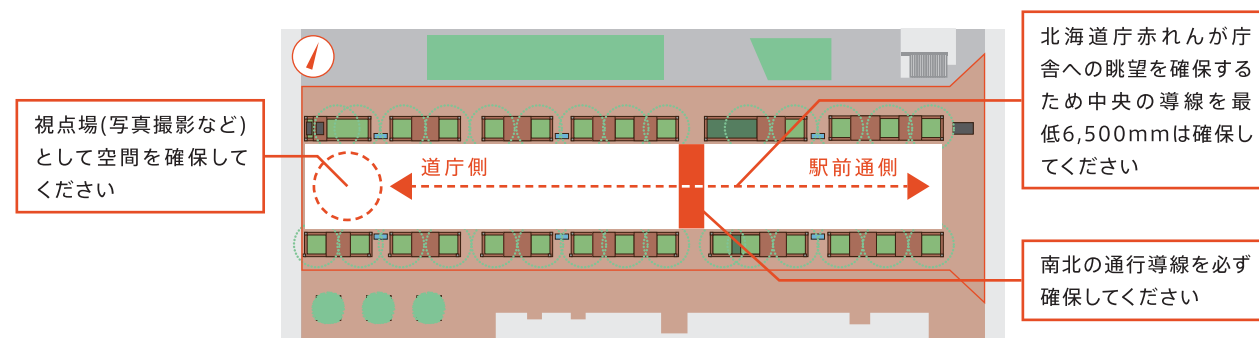
### 配慮1 赤れんが庁舎に対する眺望軸

札幌の美しさを感じられる空間として広場を活用していく上で、メインストリートである駅前通方向から北海道庁赤れんが庁舎への眺めは重要な要素となります。また、広場の駅前通側は、景観計画重点区域（札幌駅前通北街区地区）に指定されており、その景観形成方針に次の目標像が掲げられています。

○街並みの目標像：札幌駅前通の景観特性に配慮する

ビスタの効いた通りは、連続性のある強い印象を与える一方で、単調になりがちな面もあるが、札幌駅前通では、北海道庁赤レンガをアイストップとしたイチョウ並木をはじめ、一定の間隔で道路が交差することにより視界が開け、景観の変化を味わうことができる。今後、土地利用が高度化し、新たなスカイラインが形成されていくことが考えられるが、街並みの統一感や辻ごとの変化を大切にすることが必要である。

以上のことから、会場レイアウトにあたっては、駅前通から北海道庁赤れんが庁舎への眺望軸に配慮した空間、広場西側の視点場の確保につとめてください。



### 配慮2 周辺環境

●音について

音の出るイベント（コンサート・ライブなど、リハーサル等含む）は、原則、休日については午前9時～午後9時まで、平日については正午～午後1時、午後5時～午後9時までとしますが、詳細については指定管理者と協議してください。音が出るイベントは隣接する施設との間で時間の調整が必要になります。

●においについて

広場利用の際に悪臭、煙等を発生する店舗、設備については、周辺への影響に配慮し、持ち込み・設置を避けてください。

●照明・光について

広場内に照明器具を設置する場合は、信号機や交通標識と誤認する恐れのあるものや景観を損なうような演出照明は避け、周辺施設へ配慮してください。

●イチョウ並木への配慮について

広場の両側にあるイチョウ並木を良好に保全する上で、樹木に対してイベント等で利用する設置物を立て掛けたりくくりつけたりするなど、物理的な干渉を原則禁止します。

●広告物等の掲出について

広場は、「札幌市屋外広告物条例」に基づいた「景観保全型広告整備地区」内にあり、景観への十分な配慮が求められるため、広告物等の掲出について厳しい制限がかかっています。また、周辺環境への配慮から、のぼり、垂れ幕についても、原則禁止とさせていただきます。

### 配慮3 衛生管理

●原状回復と清掃管理について

広場施設の原状回復と清掃は、利用者に行っていただき、終了時に指定管理者が点検をいたします。

●除排雪について

冬期において、イベントの内容に応じて、利用者で開催期間中の除排雪を行っていただく場合がありますのでご了承ください。イベント開催前に、イベントの事情により除排雪が必要な場合は、指定管理者にご相談ください。指定の除排雪業者を紹介します。また路面がれんがのため、傷がつかないように注意して下さい。

●ゴミ処理について

原則、イベント利用時に広場内で発生したゴミは、利用者の責任により処理してください。

●喫煙について

広場は喫煙制限区域内にあるので、喫煙は禁止となります。

●トイレについて

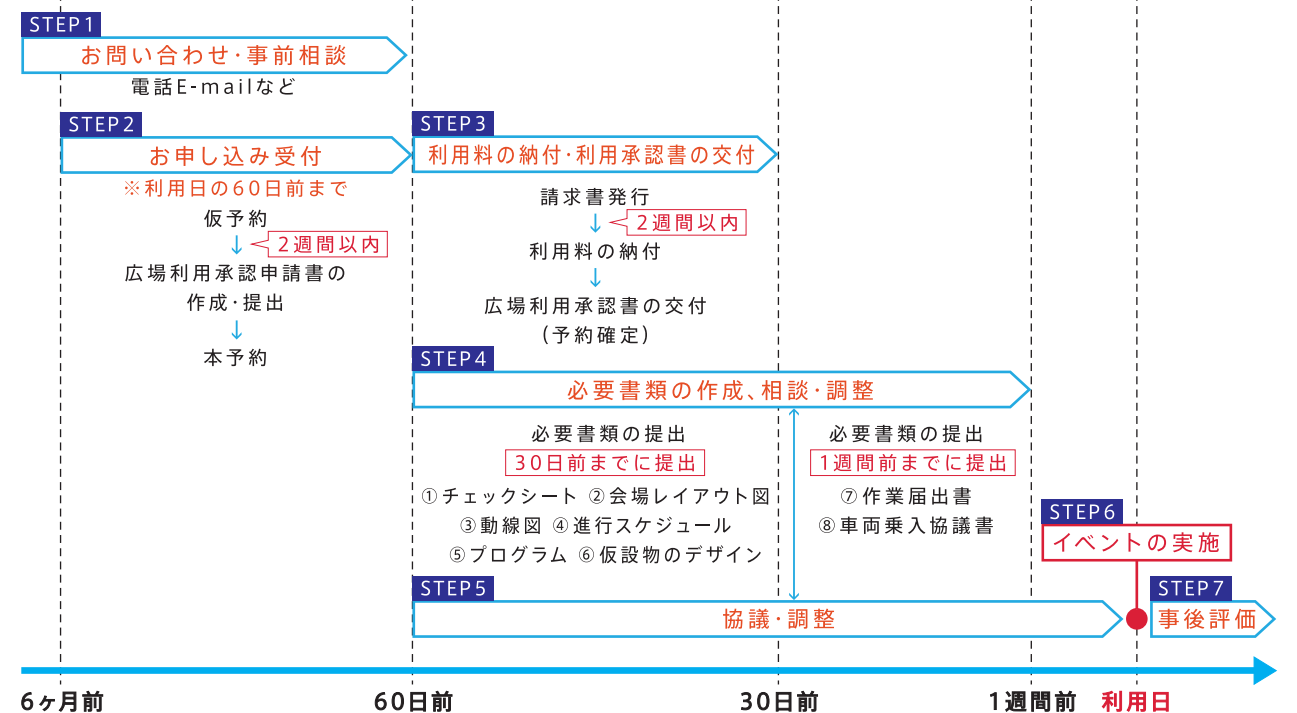
トイレは広場内にはございません。広場内に仮設トイレを設置することは認めません。通常は札幌駅前通地下歩行空間管理者及び札幌駅前通地下広場指定管理者と協議の上、札幌駅前通地下歩行空間内のトイレへ誘導するよう案内板などを適切な箇所に掲出してください。

### 配慮4 安全管理

●警備について

搬入、搬出の際には、安全性確保のため、関係機関との協議の上、必要となる警備員を配置してください。西5丁目線からの車両進入時には、必ず警備員を配置し、歩行者の安全を確保してください。また、開催日が複数日にわたる場合は、主催者側で夜間警備を行ってください。

### 申請手続きフロー



※詳細についてはホームページに記載している利用の手引きを必ずお読みください。



## 過去の活用事例

これまでも、さまざまなイベントがアカプラで開催されています。



### 春一番、ゆうべつチューリップ便り！

アカプラでチューリップの展示を行うイベント。チューリップの開花によっていち早く春をお届けし、湧別町にある「かみゆうべつチューリップ公園」のPRやチューリップの苗の配布など、湧別町のチューリップのPRを行いました。

開催期間：例年4月～5月

入場者数：20,000人（4月22日～5月10日の期間中）／利用形態：全面

主催：湧別町、札幌駅前通まちづくり株式会社



### HBC赤れんがプレミアムフェスト

札幌の歴史を見守るイチョウ並木と北海道庁の赤れんが庁舎を臨む絶好のロケーションで、初夏の味覚や各番組のステージや道内外のアーティストによる音楽で盛り上がりました。

開催期間：2014年9月13日（土）～23日（火）、2015年7月17日（金）～20日（月）

2016年7月15日（金）～18日（月）、2017年7月14日（金）～17日（月）

入場者数：63,000人／利用形態：全面／主催：北海道放送株式会社



### PMFアカプラ・コンサート

「PMFアカプラ・コンサート」は世界各地から集まった若手演奏家による野外コンサート。北海道庁赤れんが庁舎前の素晴らしいロケーションの中で、誰もが気軽に楽しめる音楽コンサートです。

開催期間：2015年7月23日（木）、2016年7月19日（火）、2017年7月12日（水）

入場者数：650人／利用形態：全面／主催：公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会



### PARK JAZZ LIVE

札幌の街をステージに、全国から350組を超えるプロ・アマチュアミュージシャンが、自慢の演奏を繰り広げる参加型ライブ。多くの市民がさまざまな音楽に触れ合える2日間。

開催期間：2016年7月30日（土）～31日（日）／入場者数：18,755人／利用形態：半面

主催：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会



### アカプラ会社対抗のど自慢大会

「アカプラ会社対抗のど自慢大会」は駅前通地区の活性化や会員企業間の親睦・交流を目的として駅前通沿道のビル等のテナントを対象に開催しています。

開催期間：2015年8月21日（金）、2016年7月21日（木）～22日（金）、2017年7月27日（木）

入場者数：400人／利用形態：全面／主催：札幌駅前通地区活性化委員会



### アカプライルミネーション

北海道に現存する中で最古の街路樹であるアカプラのイチョウ並木を光と音で演出。3色のLEDを用いた光と、その光に連動させた音楽の幻想的な演出をお楽しみいただけます。

開催期間：2015年12月14日（月）～2016年3月14日（月）、2016年11月11日（金）～2017年3月14日（火）

2017年11月24日（金）～2018年3月14日（水）

入場者数：約180,000人（2016年11月11日～2017年3月14日 173日間）／利用形態：全面

主催：札幌駅前通地区活性化委員会



### さっぽろアクアガーデン

いつも何気なく使っている“水道水”の魅力を再発見できる体験型のイベント。札幌市北3条広場で「都心のオアシス」をテーマに、水を使用しつろぎや清涼感が感じられる空間の演出も行っています。

開催期間：2017年7月20日（木）～23日（日）

入場者数：25,000人／利用形態：全面／主催：札幌市水道局



### 海外旅行フェア2017inアカプラ

札幌市北3条広場を会場に、道民の皆さまに海外の魅力をお伝えし、海外旅行を楽しんでいただくことを目的としています。最新の海外旅行情報の紹介のほか、海外旅行券や無料航空券などが当たる抽選会や世界のダンス・パフォーマンスなど楽しいPRステージイベントも開催しています。

開催期間：2017年8月25日（金）～27日（日）

入場者数：20,000人／利用形態：全面／主催：北海道海外旅行促進事業実行委員会



### 北海道クラシックカーラリー

札幌市を起点に道内各地に点在する景勝地を巡るクラシックカーの大会。札幌を出発し富良野・美瑛などを經由しオホーツク網走から知床峠を越え釧路へ、十勝平野を抜け鹿追・新得を経由するコースは過去最長の1,100kmにもおよびます。国産車・外車合わせて42台が参加しました。

開催期間：2015年7月9日（木）～10日（金）、2016年7月8日（木）～9日（土）、2017年7月6日（木）～7日（金）

入場者数：約10,000人／利用形態：全面／主催：auras、北海道クラシックカーラリー運営事務局



### AKAPLA MUSIC FEST.ーアカプラミュージックフェスー

北海道庁赤れんが庁舎をバックに春の日差しが心地よい札幌市北3条広場（アカプラ）で開催される音楽イベントです。最高のロケーションの中で、演奏団体による迫力ある美しい生の演奏をお楽しみいただきました。

開催期間：2015年5月23日（土）～24日（日）、30日（土）～31日（日）、2016年5月28日（土）～29日（日）

入場者数：10,000人／利用形態：半面／主催：三井不動産株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社







### アウトドアデイジャパン札幌

たくさんの方が素敵でハッピーなアウトドアライフを過ごせる、最新のアウトドアギア・フィールド・アクティビティ。“アウトドアデイジャパン”はアウトドアに関連する製品やサービスの魅力を存分に実感することができる国内最大級のアウトドアイベントとして開催されています。

開催期間：2015年6月20日(土)～21日(日)、2016年6月4日(土)～5日(日)、2017年6月17日(土)～18日(日)／入場者数：28,788人／利用形態：全面／主催：一般社団法人 日本オートキャンプ協会



### さっぽろ八月祭

2015年に誕生した札幌駅前通地区のお祭り「さっぽろ八月祭」。さっぽろ八月祭スペシャルビッグバンドの生演奏で楽しむ盆踊りを中心に、餅まきや屋台など、このお祭りならではの楽しいプログラムをご用意しています。

開催期間：例年8月上旬に開催しています  
入場者数：2日間約21,000人／利用形態：全面／主催：札幌駅前通地区活性化委員会



### HBCとれたてマルシェ

HBCテレビ「今日ドキッ!」の人気コーナー「美味 ほっかいどう旬発見」で紹介された、手間を惜しまず納得できるものを追い求める生産者さんの“こだわりの逸品”を販売。また、HBCがセレクトした超注目アーティストによるライブステージも開催。マルシェの雰囲気合った心地よいアコースティックサウンドが秋空のアカブラに流れました。

開催期間：2015年9月21日(月)～22日(火)、2016年8月26日(金)～28日(日)、2017年9月1日(金)～3日(日)／入場者数：20,000人／利用形態：全面／主催：HBC 北海道放送



### さっぽろユキテラス

札幌の特徴の一つでもある“雪と光”をモチーフにして冬の魅力を発信するプロジェクトです。札幌の冬の寒さはとても厳しく、降り積もる雪は市民には厄介者として扱われがちですが、見方を変えると雪は美しく、このまちならではの特徴と言える大切な資源です。その資源をアーティストの想像・創造力で魅力的に演出し、この冬のこの場にしか生まれないサイトスペシフィックな体験を提案しています。

開催期間：例年2月の雪まつり時期に合わせて開催しています  
入場者数：約37,000人／利用形態：15年16年は全面、17年は半面／主催：札幌駅前通地区活性化委員会

